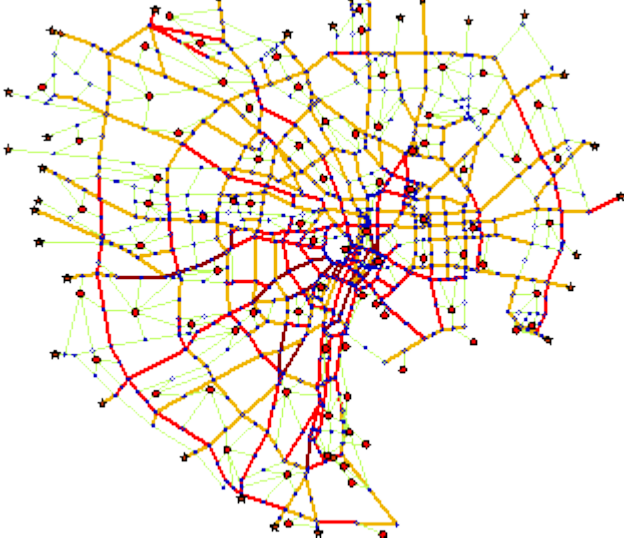


シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	交通施策	小分類	TDM	シミュレーションモデル名	SOUND				
概要	適用事例名	ロードプライシング施策による東京 23 区での渋滞緩和効果の評価							
	目的・概要	本事例は、東京23区においてエリアプライシング施策を実施した際の渋滞改善効果及びその地域的な相違を把握することを目的とする。別途推計したエリアプライシング実施前後のゾーンOD交通量を与え、シミュレーションにより旅行時間、旅行速度等の変化を評価する。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴	エリア課金による経路選択行動の違いを考慮するため、コドンライン上での課金額を旅行時間に変換して与えている。							
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	東京23区(半径15km程度)	対象時間帯	平日1日(24時間)					
	評価対象時期	現況(平成6年度)、施策実施後(時期特定せず)							
	対象道路網	概ね主要地方道、都道以上の道路							
	ネットワーク規模	ノード数	942	リンク数	2952	起終点ノード数	115	総トリップ数	約 370 万
		一般街路ネットワーク	交差点数		392	信号交差点数	0*	道路区間数	708
		自専道ネットワーク	分岐部数			出入口数		道路区間数	
	特記事項	信号交差点は分岐容量に換算して表現している							
	(ネットワークの概略図面を添付)								
									
	入力データ	道路 データ	単路部	リンク長、車線数、容量、自由流速度					
交差点部			分岐容量						
合流部									
信号 制御		設定パラメータ	設定しない(「飽和交通流率」×「スプリット」相当の分岐容量を与える)						
		作成方法							
交通需要		設定単位	OD 交通量						
		作成方法	現況: 平成6年道路交通センサスOD調査データより作成 施策実施後: 行動変更モデルを用いて現況のOD需要を変化						
	空間単位	道路交通センサス中ゾーン単位							
	時間単位	1時間単位、24時間							
車両属性区分	2車種(大型車、小型車)、但し大型車は小型車換算して与える								
その他									
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式,6秒/1スキャン							
	パケットサイズ	10台/パケット							
	経路選択原理	旅行時間をコストにした確率的経路配分(Dial 配分)、5分毎に更新、但しコドンラインを通過する経路の課金額も時間換算してコストとして考慮							
	特記事項								
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	交差点部の方向別交通容量(=SFR×スプリットに相当する量)						
		方法	東京23区内平均旅行時間が等しくなるようにパラメータを調整						
	検証方法	全地域内平均旅行速度を用いた検証							
検証用データ取得方法	平成6年度道路交通センサス東京23区内平均旅行時間								
出力データ	時間平均リンク旅行速度、地区別平均旅行速度、時間リンク交通量など (目的とする評価に用いたデータのみ記述)								
記入者	所属機関・部署	東京大学生産技術研究所・第5部・桑原研究室							
	電話	03-5452-6098 ext.58173	FAX	03-5452-6420	HP	http://nishi.iis.u-tokyo.ac.jp/~kuwapage			